



シニア層を対象とした1か月2,000円「東急線乗り放題パス(over60)」を限定発売  
～新たな生活様式により多様化する利用スタイルに合わせた乗車券サービスを提供します～

東急電鉄株式会社

当社は、アフターコロナに即した社会的価値の持続的提供を目指し、域内移動需要の創出を目的とした新たな乗車券サービスを提供するべく、その第1弾として2021年11月1日(月)からシニア層の方々を対象とした電子乗車券「東急線乗り放題パス(over60)」(以下、本乗車券)を限定発売します。

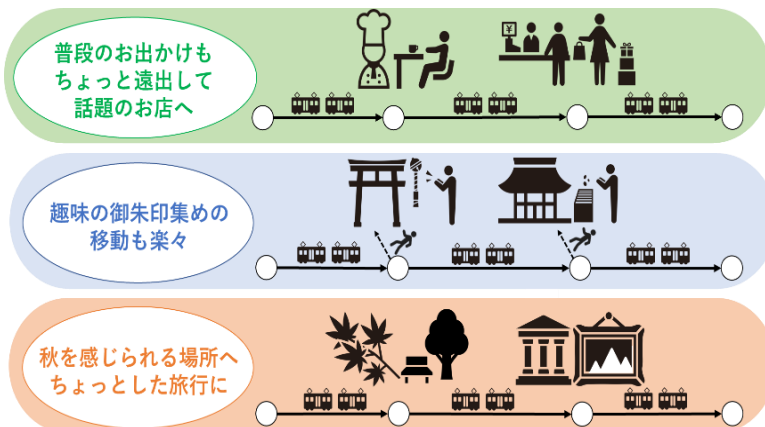
当社は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の長期化で顕在化しつつある二次的な健康被害といった社会課題に対し、鉄道サービスを通じて外出や人との交流の一助となることで、東急線沿線にお住まいの方々の健康促進に貢献し、豊かで充実した暮らしにつなげていくことを目指しています。

本乗車券は、11月1日～11月30日までの1か月間、2,000円で東急線全線が乗り放題になるチケットです。60歳以上のTOKYU CARD、TOKYU POINT CARD(現金ポイントカード)会員のお客さまで「電車とバスで貯まるTOKYU POINT」に登録し、ご応募いただいた方の中から1,000名を上限に発売します。東急線ワンデーパス(東急線全線一日乗車券)3日分の価格(2,040円)とほぼ同額で1か月間自由に東急線全線をご利用いただける大変お得な乗車券です。また、旅行・レジャー予約サイトを運営しているKlookと連携し、スマートフォンを活用した電子乗車券を発行することで、切符の購入などの手間がなく駅係員にスマートフォン画面を提示するだけで、スムーズにご乗車いただくことができます。

当社が現在、実証実験をしている環境配慮型サブスクリプションサービス「Tuy Tuy」や東急株式会社を主体として実証実験をした「DENTO」の利用データの分析結果で、お得な価格で東急線ワンデーパスのサービスを提供することで移動促進の効果が一定数ありました。本乗車券による移動需要の結果についても分析し、多様化する利用スタイルに合わせた新たな移動を創出する乗車券サービスの開発を検討していきます。

当社は、今後もあらゆる人、目的に応える鉄道サービスの実現および自律分散型沿線都市のまちづくりを見据え、シニア層だけではなく子育て世代など沿線にお住まいの方々に向けたさまざまなサービスを提案していきます。提案にあたっては交通手段として優れた環境性能やコスト効率などの鉄道サービスの強みと電子乗車券などのデジタル技術を掛け合わせながら、脱炭素循環型社会への貢献など事業を通じた社会価値提供・課題解決への取り組みを推進していきます。

本乗車券に関する詳細は別紙のとおりです。



▲本乗車券利用イメージ



▲電子乗車券券面イメージ



▲Klookアプリロゴ

## 【別紙】

### 1. 「東急線乗り放題パス(over60)」について

- (1)概要 要: 2021年11月1日～11月30日まで東急線全線が乗り放題になるチケット
- (2)発売金額: 2,000円(税込)
- (3)発売対象: 10月15日(金)時点で以下の2項目を満たしているTOKYU CARD、TOKYU POINT CARD (現金ポイントカード)会員に、メールマガジンを配信し応募いただいた方の中から回答結果をもとに当社にて最大1,000名を選出
- ・東京都、神奈川県 の住所でご登録いただいている60歳以上の方
  - ・TOKYU POINT Webサービス(※1)に登録し東急カード株式会社からのメールマガジンを受信できること(※2)
- (※1)TOKYU POINT CARD (現金ポイントカード)新規登録は、10月10日(日)までに行う必要があります。
- (※2)一部会員の方にはメールマガジンが届かない場合があります。
- (4)利用までの流れ: ①「(3)発売対象」に該当している方に配信するメールよりアンケートに答えて応募いただきます。なお、応募にあたっては以下2つの条件を満たす必要があります。
- ・「電車とバスで貯まるTOKYU POINT」(※3)へのご登録
  - ・スマートフォンをお持ちであること
- ②対象者の方には、10月28日(木)頃に購入用メールを配信します。その記載内容に従いKlookへの会員登録、購入、アプリのインストールを10月31日(日)までに実施いただきます。
- ・対象者の発表は購入用メールの配信を持って、代えさせていただきます。
  - ・ご利用には、Klookの会員登録、アプリのインストールが必要です。
- ③期間最終日11月30日(火)に、対象者の方にはアンケート用のメールを配信します。
- (5)電子乗車券の使い方: ①購入用メールを受信した方は、Klookへの会員登録、購入、Klookアプリのインストールを実施していただきます。
- ②乗車時および降車時にスマートフォンの本乗車券画面を係員にお見せください。
- (6)利用可能期間: 2021年11月1日(月)～2021年11月30日(火)

#### (※3)「電車とバスで貯まるTOKYU POINT」とは

東急線 PASMO 定期券の購入やPASMOオートチャージサービス等のご利用でTOKYU POINTが貯まるお得なサービスです。貯めたTOKYU POINTはPASMOへのチャージ等にご利用いただけます。詳細はホームページをご確認ください。 <https://www.topcard.co.jp/point/save/railway/>

PASMOは(株)パスマの登録商標です。

PASMO オートチャージサービスは(株)パスマが提供するサービスです。

## 2. Klookについて

2014年に設立したKlookは、世界をリードする旅行・レジャー予約プラットフォームです。Klookでは世界中のユーザーが、いつでも、どこでも、最高の体験やサービスを見つけ、予約できるサービスを提供しています。世界各国の人気アトラクション、ツアー、移動サービス、ホテル、グルメ、特別な体験など、ウェブサイトとアプリ(Google Play&Apple App Store)が選ぶ「ベストオブイヤー」を連続受賞からシームレスに検索・予約することが可能です。500か所以上の旅行先に28万点を超えるラインナップを取り揃え、ユーザー一人ひとりのオリジナルな旅づくりをサポートしています。Klookは世界主要都市に拠点をかまえ、14言語と41種類の表示通貨に対応しています。

Klook(日本語版): <https://www.klook.com/ja/>

Android: <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.klook&hl=ja>

iOS: <https://itunes.apple.com/JP/app/klook/id961850126>

## 【Klook Travel Technology Limited 会社概要】

社名: Klook Travel Technology Limited(クルック・トラベル・テクノロジー・リミテッド)

本社: 香港(22/F, Kinwick Centre, 32 Hollywood Road, Central, Hong Kong)

代表者: 共同創業者兼CEO, 林照園(英語名:イーサン・リン)

設立: 2014年9月

資本金: 約747億円(7.2億米ドル)

事業内容: 旅行・レジャー予約サイト「Klook」の開発および運営

URL: <https://www.klook.com/>

【Klook Travel Technology合同会社 会社概要】

社名: Klook Travel Technology合同会社

日本本社: 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア39F WeWork

設立: 2017年9月

資本金: 2,500万円

事業内容: 旅行・レジャー予約サイト「Klook」の開発および運営

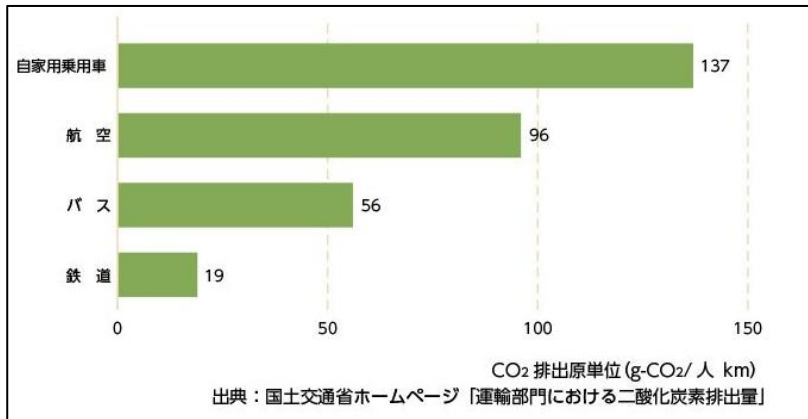
以 上

【参考】

■脱炭素・循環型社会実現に向けた取り組み

鉄道は環境にやさしい乗り物と言われており、お客さま1人を1km運ぶ際に排出するCO2(輸送人キロ当たりの排出量)は、自家用乗用車に比べ約7分の1となっています。当社は、2021年4月1日に制定した「環境方針」に基づき、人・社会・自然が調和した「美しい生活環境の創造」を目指して、環境性能の向上をはじめとしたさまざまな取り組みを実施しています。また「ココロでまちをサステナブルに。」というコンセプトのもと、一人ひとりが自分らしく暮らせるまちが続くよう、環境活動などを広めていく「with♡(ウィズ・ハート)」という取り組みも行っています。

・輸送量当たりの二酸化炭素排出量(2017年度)



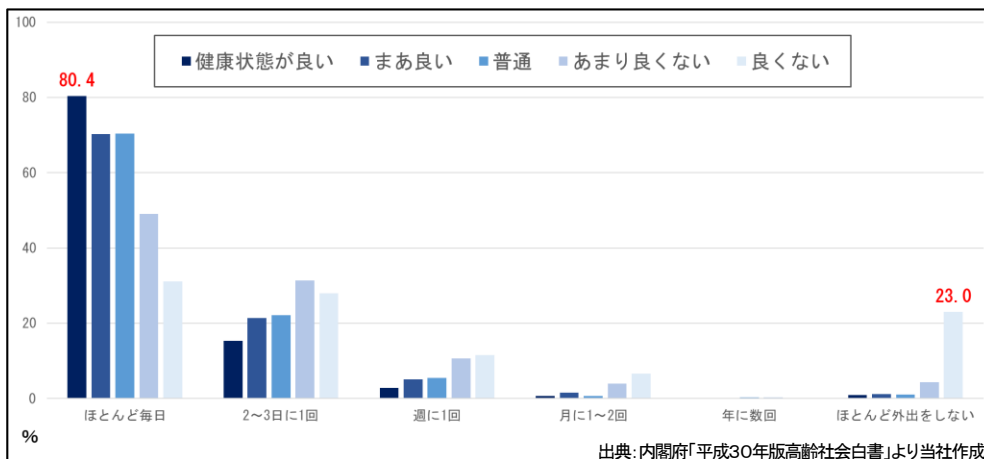
- ・当社の環境への取り組み <https://www.tokyu.co.jp/railway/service/activity/environment/>
- ・「With♡(ウィズ・ハート)ココロでまちをサステナブルに。」 <https://ii.tokyu.co.jp/withheart>



■外出自粛などによるフレイルの予防

内閣府の「平成30年版高齢社会白書」によると、健康状態が「良い」と回答した55歳以上の約80%がほとんど毎日外出している一方で、健康状態が「良くない」と回答した人の約23%の方はほとんど外出していないことが分かります。また、東京都福祉保健局の「令和2年東京都福祉保険基礎調査「高齢者の生活実態」」によると、ほぼ毎日外出すると回答した65歳以上の割合は、令和2年度では平成27年度に比べて約13pt減少しており、外出自粛などによる二次的な健康被害が懸念されています。同局では、感染症対策を取りながら1日1回以上の外出や人との交流を勧めており、当社においても鉄道サービスを通してシニア層が健康に過ごせる沿線環境の構築を目指していきます。

・55歳以上の外出頻度(主観的な健康状態別)



・平成27年度と令和2年度との65歳以上の外出頻度の推移

